

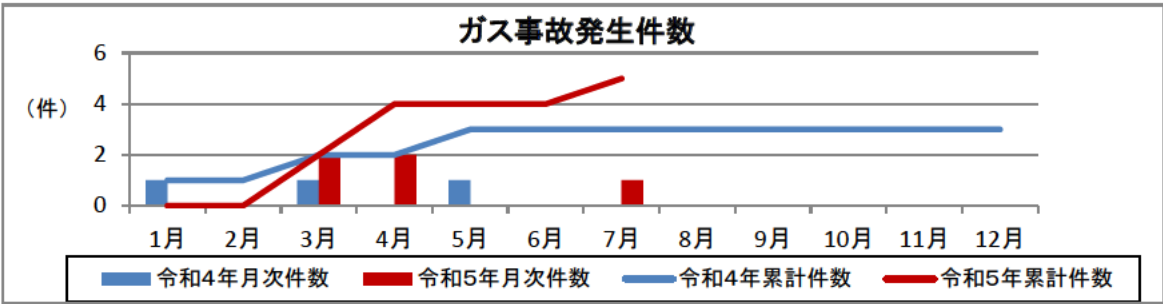
【令和5年】

■管内における事故発生状況(7月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。
※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○ガス事業法(ガス関係報告規則第4条)関連

事故の種別 (事象別)	令和5年7月分				前月件数	前年同月 件数	令和5年累計				令和4年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
ガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事中のガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給支障事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造支障事故					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ガス工作物の損壊事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス漏洩による爆発又は火災事故	1		1		0	0	2	0	1	0	1	0	0	0
避難、家屋破損、交通困難等					0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
消費機器使用に伴う人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費機器、ガス栓から漏洩したガスへの引火による事故					0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
合 計	1	0	1	0	0	0	5	0	1	0	3	0	0	0



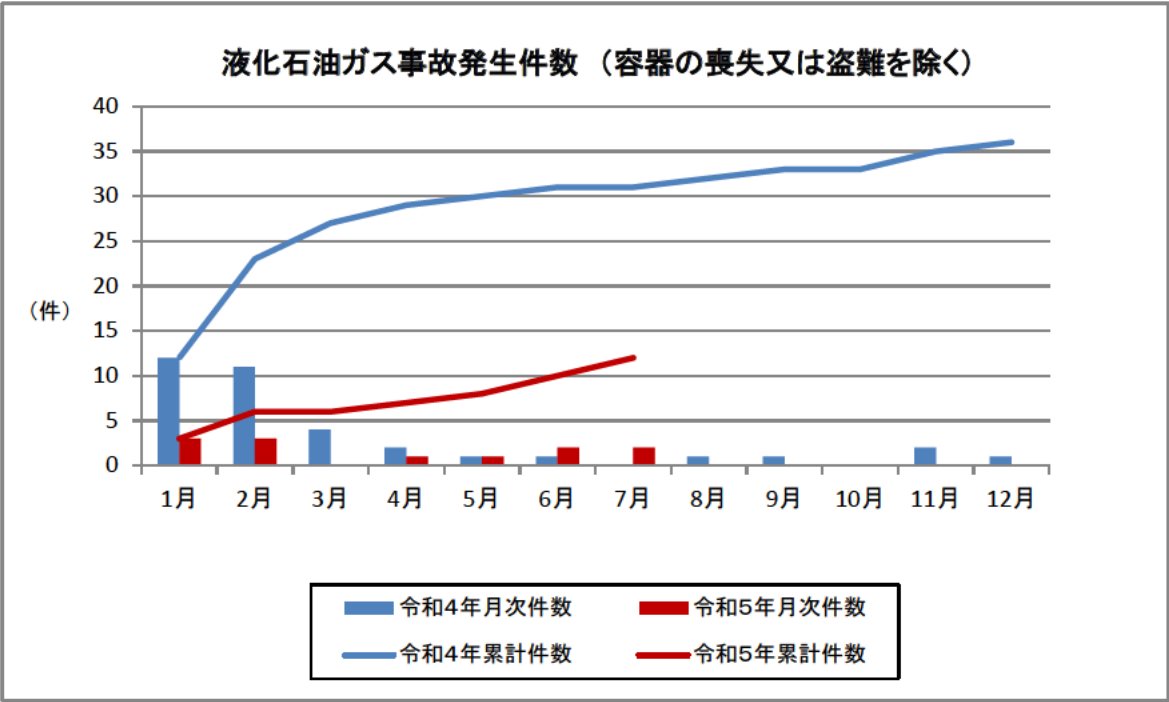
事故の種別 (段階別・事業別)		令和5年7月分				前月件 数	前年同 月 件数	令和5年累計				令和4年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造段階	旧一般ガス等					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給段階	旧一般ガス等	1		1		0	0	3	0	1	0	1	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費段階	旧一般ガス等					0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合 計		1	0	1	0	0	0	5	0	1	0	3	0	0	0

○液化石油ガス保安法(液化石油ガス関係事故措置マニュアル)関連

事故の種別		令和5年7月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
漏えい		1				2	0	6	0	0	0	13	0	0	0
漏えい爆発		1			1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
漏えい火災						0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
中毒・酸欠						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計		2	0	0	1	2	0	8	0	0	2	15	0	0	0
雪害	漏えい					0	0	4	0	0	0	19	0	0	0
	漏えい爆発					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	漏えい火災					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
小 計		0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	21	0	0	0
合 計		2	0	0	1	2	0	12	0	0	2	36	0	0	0
容器の喪失又は盗難						1	0	1	0	0	0	8	0	0	0
報 告 総 計		2	0	0	1	3	0	13	0	0	2	44	0	0	0

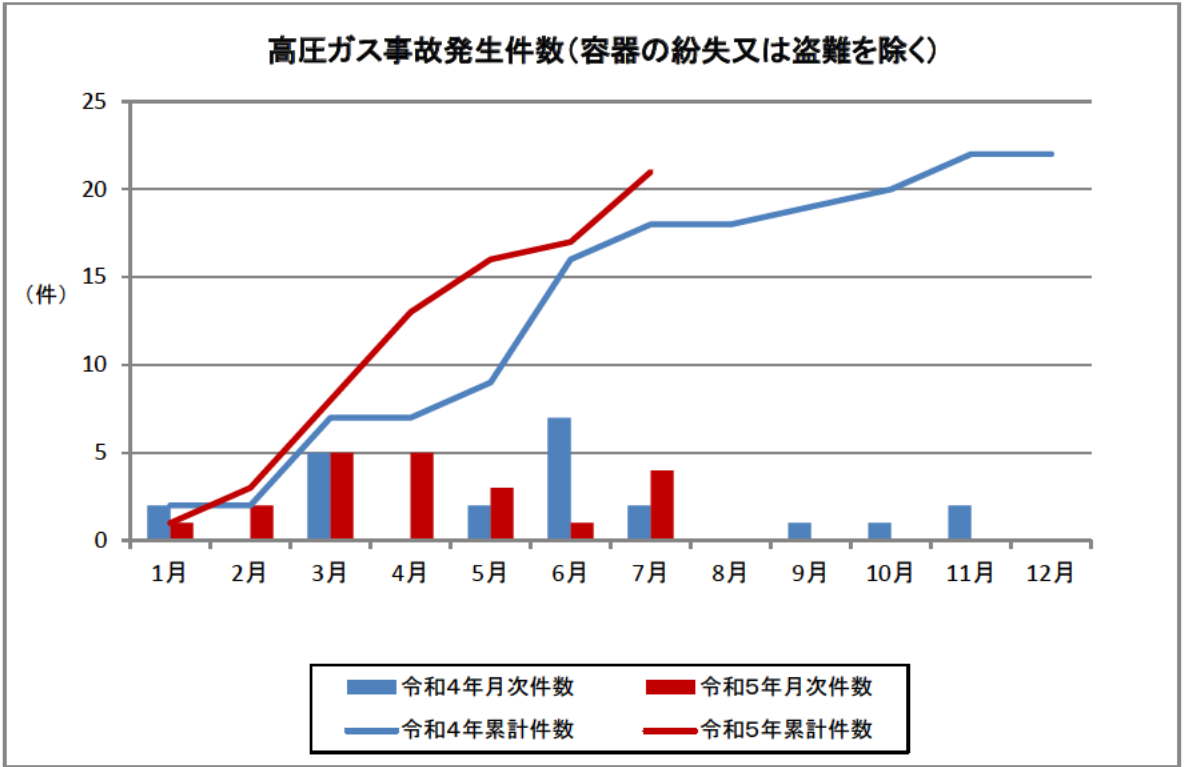
※ 各県から速報のあったものを計上しています(以下、火薬類事故まで同様)。

※ 雪害には、除雪、屋根からの雪下ろし等の人為的なものは含めず、一般事故として集計しています。



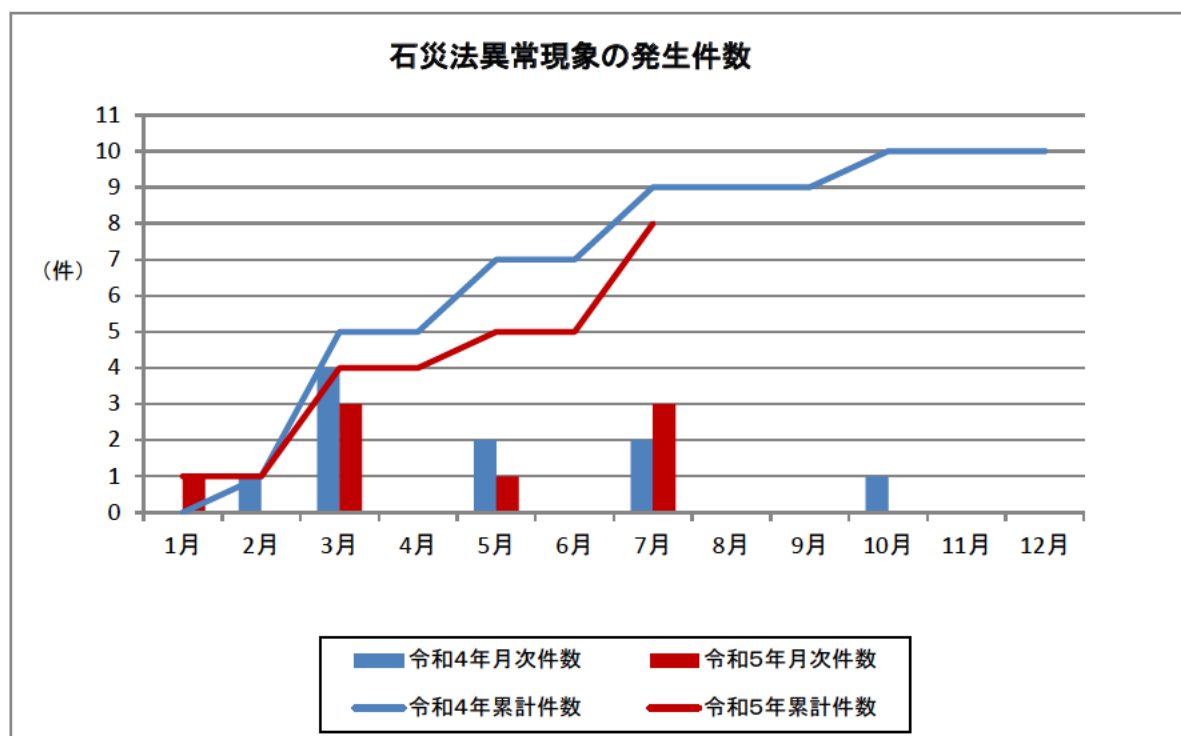
○高圧ガス保安法(高圧ガス保安法事故措置マニュアル)関連

事故の種別		令和5年7月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
災害	爆発					0	0	1	0	3	1	0	0	0	0
	火災					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	噴出・漏えい	4				1	2	20	0	0	0	18	0	0	0
	破裂・破損等					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		4	0	0	0	1	2	21	0	3	1	22	0	0	0
容器の喪失又は盗難						0	1	0	0	0	0	2	0	0	0
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報 告 総 計		4	0	0	0	1	3	21	0	3	1	24	0	0	0



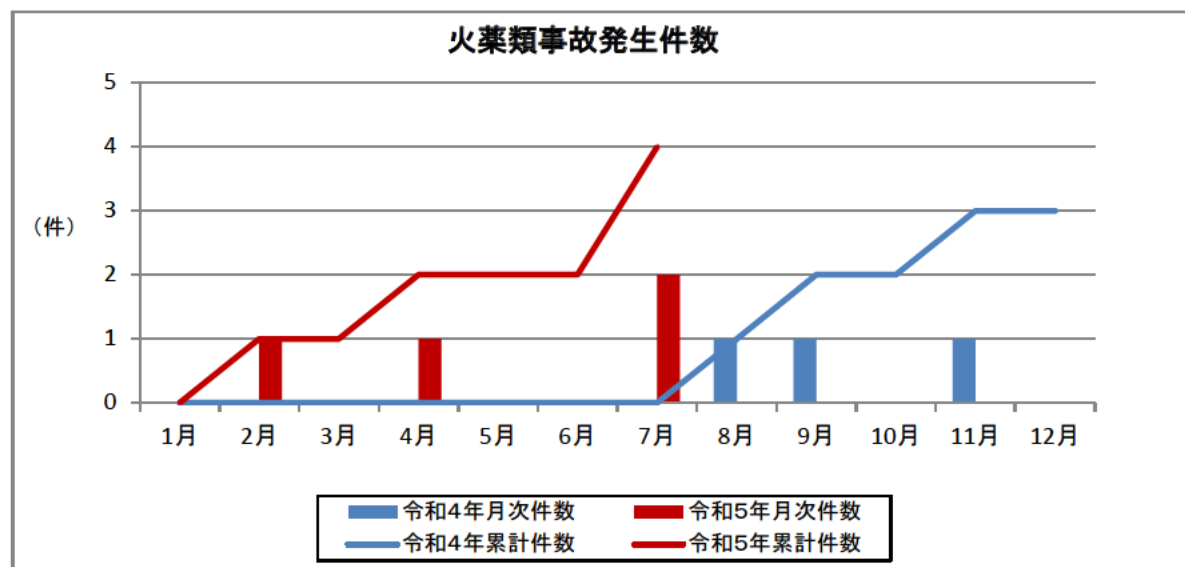
○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

異常現象の種別	令和5年7月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
出火	2				0	0	3	0	0	0	1	0	0	0
石油等の漏洩	1				0	2	5	0	0	0	9	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	0	0	0	0	2	8	0	0	0	10	0	0	0



○火薬類取締法(火薬類事故措置マニュアル)関連

取扱の種別	令和5年7月分				前月件数	前年同月 件数	令和5年累計				令和4年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造中	1				0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
消費中	1				0	0	2	0	0	0	2	0	0	1
運搬中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貯蔵中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がんろう中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他					0	0	1	0	0	0	1	0	1	2
合 計	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	1	3



◆令和5年(2023年)の事故概要

○ガス事業法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年7月5日	青森県	一般ガス導 管事業者	漏えい・ 火災	経年灯外内管取替工事において、作業員が灯外内管をディスクグラインダーで切断したところ、ガスが噴出して引火・火災が発生し、作業員が顔、両腕、左ひざに熱傷を負ったもの。 原因は作業員が配管図と異なる埋設白管を不使用管と思い込み、ディスクグラインダーで切断し、その際発生した火花が噴出したガスに引火したもの。消防による火災認定あり。	人的被害:重傷1名 物的被害:外壁一部焼損
2023年4月4日	福島県	一般ガス導 管事業者	漏えい・ 火災	いわき市の消防本部より火災通報を受け、現場に向かったところ、火災が発生していた。 原因は、解体業者が解体工事をしていた際に、ガスが止まっていると思い、灯外内管を電動工具で切断し、漏えいしたガスに着火したもの。消防による火災認定あり。	人的被害:なし 物的被害:建物3棟火災
2023年4月1日	福島県	一般ガス導 管事業者	漏えい・ 避難	集合住宅の需要家より「音がしてガス臭い」と入電があり、避難を依頼し出動した。 ガスメーター二次側検圧プラグ検査口からガス漏えいがあり、これを止め、検圧プラグにキャップを施し、避難を解除。 原因は当日事故発生前に実施した漏えい検査後、圧力計を取り外した際に検圧プラグからの漏えい検査を実施せず、キャップの取付けも忘れたことによるもの。	なし
2023年3月30日	宮城県	一般ガス導 管事業者	漏えい・ 引火	飲食店従業員が業務用フライヤーを点けたまま厨房を30分程度離れていたところ、火災が発生していた。 火災鎮火後、業務用レンジの点火棒ロビネが全開状態であることが確認され、原因は、点火棒用ロビネが開放されていることに気づかず、厨房メインバルブを開けたことによりガスが漏えいし、業務用フライヤーの炎に着火したものと推定される。消防による火災認定あり。	人的被害:なし 物的被害:厨房内天井、壁、厨房設備等約30㎡を焼損
2023年3月11日	宮城県	一般ガス導 管事業者	漏えい・ 引火	コンロ下のアルミシートを交換中、旧型二ロガス栓の未使用側が半開となっており、そこから漏えいしたガスに何らかの原因により着火した。なお、未使用側のガス栓にはゴムキャップが装着されていた。 原因は、アルミシートの交換中か、それ以前かは不明だが、ガス栓が半開となっており、漏えいしたガスに何らかの着火源により着火したと推定される。消防による火災認定あり。	人的被害:なし 物的被害:ガスコンロ、ガス栓キャップ及び流し台並びに壁の一部焼損

○液化石油ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年7月29日	岩手県	消費者	漏えい 爆発	キッチンカー搭載のガスコンロから漏えいしたガスに引火して爆発が発生したもの。 当該キッチンカーは販売所兼保安機関から2.6km、車両で約7分の場所に駐車していた。 原因はガスコンロのcock(ボールバルブ)が、意図しない接触により開いてしまいガスが漏えいしたものと推定される。	人的被害:軽傷1名 物的被害:キッチンカーのフロントガラスの損傷(ひび)
2023年7月20日	青森県	LPガス事業者	漏えい	需要家から「ガスが出ない」との連絡を受け出動したところ、7月18日に設置した20kg容器が空になっていたもの。 原因は調整器出口(低圧側)と低圧ホースの接続不備(締め込み不足による緩み)により漏えいに至ったもの。	なし
2023年6月27日	秋田県	消費者	漏えい	スーパーマーケットにおいて、他工事業者が厨房床面をサンダーで切った際に、埋設されたガス配管を切断しガスが漏えいしたもの。工事の立会者がガス漏れに気づき、cockを閉めガス漏えいを停止した。 原因は工事関係者間で情報が共有されず、販売事業者に対する工事の事前連絡がなかったこと。	なし
2023年6月15日	福島県	消費者	漏えい	運動場において、通常よりもガス消費量が多かったため検査を行ったところ、供給設備及び消費設備の露出部は検知機による漏えい反応はなかったが、自記圧力計による検査で圧力低下が確認されたため、埋設部での漏えいと判断し、閉栓を行った。 原因は埋設配管が腐食したことによるものと推定される。	なし
2023年5月18日	福島県	LPガス事業者	漏えい	定期供給設備点検の際、バルク貯槽の液取り出し弁付近の溶接部から微少漏えいを認めたもの。補修材による漏えい停止後、バルク貯槽を撤去しシリンダー容器による供給の措置を行った。 原因は溶接部分の腐食によるものと推定される。	なし
2023年4月18日	宮城県	LPガス事業者	漏えい・ 火災	飲食店開店前に厨房内ガス栓の作動不良による交換を依頼された販売事業者従業員が、当該ガス栓を取り外したところ配管から残ガスが放出され、付近にあった炭火により着火し、顔面及び両手に熱傷を負ったもの。 原因はガス栓交換にあたり、配管内のガス抜きを行わなかったうえ、近くに着火源があることに気づかず作業を行ったこと。	人的被害:軽傷1名 物的被害:なし
2023年2月24日	岩手県	消費者	漏えい	落雪の音を聞いた消費者が外に出て確認したところ、ガス臭がしたため、警察に通報し、警察署員がLPガス容器のバルブを閉止したうえ、保安機関に連絡した。原因は、落雪(氷塊)により容器と調整器を繋ぐ高圧ホース連結管の容器側の継手部分が折損し、漏えいに至ったものと推定される。	なし
2023年2月12日	岩手県	消費者	漏えい	住宅の屋根からの落雪があり、事故住宅の近隣住民がガス臭に気づいて消防へ通報し、現地到着した消防職員が、容器のバルブを閉止した。原因は、屋根からの落雪により、容器と調整器を繋ぐ高圧ホースの容器側の継手部分が折損して、漏えいに至ったものと推定される。	なし
2023年2月8日	岩手県	消費者	漏えい	医院兼住宅の2階屋根から落雪があり、その時点で特に異常はなかったものの、翌日に当該一般消費者がガス臭に気づき、販売事業者に連絡し、ガス漏れが判明した。原因は、屋根からの落雪により、ガスメーターと供給管の継手部分が折損したものと推定される。	なし
2023年1月28日	福島県	消費者	漏えい	販売店においてマイコンメーターが遮断した信号を受信したため、当該一般消費者に電話連絡し、設置されている容器2本のうち、容器Aのバルブの開閉を行ってもらいマイコンメーターが復帰した。翌日、再度、マイコンメーターが遮断した信号を受信したので、販売店が現場確認を行い容器Aが空となっていることを確認した。また、容器Aと高圧ホースの接続部が緩んでいることを確認した。原因は、一般住宅に設置している容器2本のうち、容器Bを交換するはずが誤って容器Aと高圧ホースの接続部を緩めたが、誤りに気づいた際に、緩めた接続部を閉め忘れたことにより、ガスが漏えいしたもの。	なし

2023年1月22日	福島県	消費者	漏えい	商業施設の従業員からLPガス販売所に「ガスが漏れている」との連絡が入り、販売所員が現場を調査したところ、容器元バルブと高圧ホースの接続部からLPガスが漏えいしていることを確認した。原因は、高圧ホースの角リング(容器元バルブ接続部)の劣化によるもの。	なし
2023年1月13日	岩手県	消費者	漏えい	住宅の屋根からの落雪により、容器2本(1本は予備)を連結している高圧ホースと調整器の継手部分が折損してLPガスが漏えいしたと思われる。落雪による大きな音を聞いた一般消費者が漏えいに気づき、容器のバルブを閉止した。原因は、屋根からの落雪により、高圧ホースと調整器の継手部分が折損したことによるもの。	なし

○高圧ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年7月21日	山形県	高圧ガス販売	漏えい	顧客先において移動式製造装置(工業用バルクローリー)を使用し液化石油ガスをバルク貯槽に充てん作業中、充てんホースからカニ泡程度の漏えいを確認した。 原因は経年劣化によりホースにひび割れが発生したものと推定される。	なし
2023年7月11日	宮城県	大学	漏えい	超低温貯槽(CE)への液化窒素充填作業中、CEの液化窒素充填用配管とパージ用配管の溶接接続部からカニ泡程度の漏えいを確認した。 原因は設備の老朽化により腐食が進行し、溶接接続部に亀裂が生じたことによるものと推定される。	なし
2023年7月7日	秋田県	高圧ガス販売	漏えい	液化窒素移動式製造設備の終業点検中、「シュー」という音が聞こえたため、発泡液により漏えい箇所を探したところ、ポンプ吐出側フレキシブル配管からの漏えいを確認した。推定漏えい量は約200kg。 原因はポンプ駆動用モーターの車体固定部4箇所のうち3箇所が破断しており、車両の通行に伴うモーターの動きによりフレキシブル配管が外力を受け、亀裂が発生したものと推定される。	なし
2023年7月5日	岩手県	製造業	漏えい	冷凍機を停止して定期点検していたところ、圧縮機から低圧用圧力計につながる配管の圧縮機側接続部から冷媒(フロンR407C)が漏えいしている状況を発見した。 原因は経年劣化及び湿気等から腐食が進みピンホールができ冷媒が漏えいしたものと推定される。	なし
2023年6月25日	福島県	製造業	漏えい	冷凍機の配管に取り付けられたストレーナーのキャップねじ込み部から冷媒(アンモニア)が微量漏えいした。 原因は冷凍機の運転・停止による温度変化、振動の影響によりストレーナーのキャップが緩んだことによるもの。	なし
2023年5月19日	福島県	製造業	漏えい	液化酸素CE(超低温貯槽)の日常点検中、附属配管(銅管)の銀口溶接部から酸素が微量漏えいしている状況を確認した(発泡液の塗布によりカニ泡を確認)。 原因は経年劣化によるものと推定される。	なし
2023年5月17日	宮城県	高圧ガス販売	漏えい	液化窒素移動式製造設備の始業点検中、操作室内から漏えい音が聞こえたため発泡水により漏えい箇所を探したところ、ポンプ吸入側フレキシブル配管より発泡(窒素ガスの漏えい)を確認した。直ちに元弁を閉止して漏えいを止めるとともに同設備の稼働を停止した。原因は走行時やポンプ稼働時の振動が漏えい箇所に繰り返し作用し、疲労破壊が発生したものと推定される。	なし
2023年5月9日	岩手県	水産加工業	漏えい	冬期間停止していた冷凍機の運転を再開しようとしたところ起動できず、原因を調べたところ冷媒(R404A)が抜けていることが判明した。 原因は冷却水のドレン抜き不備により、冬期間に冷凍機内配管等が凍結・破損し、冷媒ガスが漏えいしたものと推定される。	なし
2023年4月27日	福島県	高圧ガス販売	漏えい	液化窒素移動式製造設備の始業点検中、操作室内から漏えい音が聞こえたため発泡水により漏えい箇所を探したところ、ポンプにつながるフレキシブル配管より発泡(窒素ガスの漏えい)を確認した。直ちに元弁を閉止して漏えいを止めるとともに同設備の稼働を停止した。原因は走行時やポンプ稼働時の振動が漏えい箇所に繰り返し作用し、疲労破壊が発生したものと推定される。	なし
2023年4月25日	宮城県	高圧ガス販売	漏えい	液化窒素移動式製造設備の始業点検中、操作室内から漏えい音が聞こえたため発泡水により漏えい箇所を探したところ、ポンプ吸入側フレキシブル配管より発泡(窒素ガスの漏えい)を確認した。直ちに元弁を閉止して漏えいを止めるとともに同設備の稼働を停止した。原因は走行時やポンプ稼働時の振動が漏えい箇所に繰り返し作用し、疲労破壊が発生したものと推定される。	なし
2023年4月19日	山形県	製造業	漏えい	冷凍機(製造から16年経過したもの)を運転中、圧力異常により停止したため、当日、製造元に調査を依頼したところ、圧縮機付近配管からの冷媒(フロンR404A)が漏えいしたことが判明した。原因は経年腐食により亀裂が生じたものと推定される。	なし

2023年4月14日	宮城県	製造業	漏えい	従業員が冷凍機の日常点検中にアンモニア臭を感じたため、冷凍機の製造・設置業者に調査を依頼した。同日、当該業者が現場調査したところ、冷媒配管の給液ストレーナーのカバー部からアンモニアが微小漏えいしていることを確認した。原因は、給液ストレーナーカバー内のガスケットが経年劣化により硬化し薄くなり、カバーに緩みが生じたためと推定される。	なし
2023年4月12日	山形県	製造業	漏えい	加圧装置を稼働するため圧縮機を運転し加圧中、ガス漏れ音が聞こえたため、運転を停止して漏えい箇所を探したところ、圧縮機の低圧プラグと吸込吐出弁の接続部からアルゴンガスが漏えいしたことが判明した。原因は調査中。	なし
2023年3月28日	宮城県	病院	漏えい	平成29年10月から運転を停止し、翌月の点検で「運転信号未発信」、「油量低下」の故障が見つかったものの修理せず、停止状態のままにしていた空調用冷凍機の冷媒(フロンR134a)を回収したところ、当初の充填量を回収できなかったことから、漏えいしたことが判明した。原因は故障を修理せず、また、経年劣化により冷凍機の気密性が保たれなくなったもの。	なし
2023年3月28日	宮城県	高圧ガス販売	漏えい	車両製造工場の液化窒素タンクに液化窒素を充填するため、高圧ガス販売事業者の移動式製造設備が来場し、充填者(運転者)が、同設備の充填ホースを液化窒素タンクに接続して配管を予冷するために窒素ガスを流した際、窒素ガスが漏えいする音を聞いたため充填者が直ちに吐出弁を閉止したところ、音(漏えい)が止まった。充填者は充填作業を中止し、会社に戻り設備を点検した結果、充填系統の配管にある「液排出弁」の本体部分に亀裂を発見した。原因は、経年及び水分により劣化が進行し、亀裂が発生したものと推定される。	なし
2023年3月23日	山形県	製造業	漏えい	空調設備の冷媒配管のロウ付け溶接部からフルオロカーボン(R32)が漏えいした。発見後、当該空調設備の運転を停止し漏えいを止めた。原因はロウ付け溶接の不備と推定される。	なし
2023年3月10日	福島県	製造業	爆発・火災	工場のカセットボンベ充填室(無人)でボタンをカセットボンベに充填中、工場内で爆発が発生し、充填室に隣接するカセットボンベの検査・梱包室で作業していた従業員3名が重傷、別の部屋の従業員1名が軽傷を負った。工場建屋も延焼。原因は調査中。	人的被害: 重傷3名、軽傷1名 物的被害: 調査中
2023年3月7日	秋田県	高圧ガス販売	漏えい	バルクローリーの容器に液化石油ガスを積み込み作業中、当該ローリーの操作箱内ガス警報器が発報した。作業員は直ちに積み込み作業を中止し、ガス検知器及び発泡液により漏えい箇所を探したところ、操作箱内の液ラインフレキシブルチューブの溶接継手部からの漏えいを確認したことから、液ライン各所のバルブを閉止して漏えいを止めた。原因は、振動、圧力変動等によりフレキシブルチューブ溶接継手部が疲労劣化し亀裂が発生したものと推定される。	なし
2023年2月20日	宮城県	製造業	漏えい	冷却ユニット(高圧ガス製造施設)を稼働させるため、配管内にハフ化プロパン(C3F8)を通して循環を始めたところ、排気設備の排気ダクト継ぎ目部からハフ化プロパンが漏えいした。原因は、冷却ユニットを稼働させる前段階として行ったハフ化プロパンが通る配管の気密試験の際に開放した排気設備の逃し弁を閉め忘れ、開いたままの状態での冷却ユニットの配管にハフ化プロパンを供給し稼働させたことから、ハフ化プロパンが逃し弁を通過して排気設備方向に流れてしまい、排気ダクトの継ぎ目部から漏えいしたものの。	なし
2023年2月20日	福島県	製造業	漏えい	液化炭酸ガスCE(コールドエバポレーター: 定置式超低温貯槽)及び蒸発器を日常点検していたところ、蒸発器内の銅蛇管から炭酸ガスが漏えいしている状態を発見した。原因は、銅蛇管の経年劣化によるものと推定される。	なし
2023年1月14日	宮城県	製造・流通業	漏えい	従業員が冷凍機の日常点検中にアンモニア臭を感じたため、冷凍機の製造・設置業者に調査を依頼した。同日、当該業者が現場調査したところ、冷媒配管継手部からアンモニアが微小漏えいしていることを確認した。継手部を増し締めしたが、漏えいが止まらなかったことから、冷凍機の運転を停止した。原因は、継手部の経年劣化により、継手のシール面(テーパー形状)が摩耗したことによるものと推定される。	なし

○石油コンビナート等災害防止法

発生日月	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年7月26日	宮城県	製油所	出火	敷地内の道路で草刈作業中、道路法面付近から発煙を感知し消火器にて消火。枯草約7㎡が延焼した。 除草剤を散布して草を枯らした上で草刈作業を行っており、原因は草刈機の刃が小石と接触して生じた火花が枯草に引火したものと推定される。	なし
2023年7月16日	福島県	発電所	出火	ボイラーの重油バーナーに燃焼用空気を供給する風箱内が焼損した。 原因は上段で燃焼していた石炭灰が溶融し、下段重油バーナーの噴射口を塞いでしまい、火炎と重油が逆流したことによるもの。	人的被害:なし 物的被害:重油バーナー風箱焼損
2023年7月9日	宮城県	製油所	漏えい	硫酸貯蔵タンク1基を空にするため、仮設フレキシブルチューブを設置して他のタンクへの移送を実施していたところ、当該フレキシブルチューブから硫酸3.3キロリットルが防液堤内に漏えいしたものの。 原因は当該フレキシブルチューブが劣化により開口し漏えいしたものと推定される。	なし
2023年5月22日	宮城県	製油所	漏えい	重油船への重油積み込み作業中、排出中のバラスト水に油が混ざっているのを発見し海面への重油漏えいを確認した。バラスト水の排出バルブを閉止して漏えいを止めるとともに、オイルフェンスを展開し、海面に生じた薄い油膜が港湾外に流出するのを抑えた。 原因は重油船のタンクからバラスト水に重油が混入したことによるもの。	なし
2023年3月30日	福島県	発電所	漏えい	タンクエアイベント(通気口)からA重油が防油堤内に漏えいした。漏えいは防油堤内に収まり、漏えい量は約1,170リットルで、回収済み。 原因はタンク内A重油のレベル発信器の保守・点検不備により、許容量を超えたA重油がタンクに移送されたことによるもの。	なし
2023年3月30日	福島県	製造業	出火	屋外にある集じん機(ミストコットレル)が焼損した。 原因は散水配管の詰まり等により散水されず、集じん機内が乾燥した状態で、電極のスパークが集じん機内の可燃物に引火したことによるもの。	人的被害:なし 物的被害:集じん機全焼、配管、架台一部焼損
2023年3月25日	福島県	発電所	漏えい	総合排水設備の硫酸移送ポンプ入口配管のフレキ管から、防液堤内に硫酸が漏えいし、その一部が防液堤を溢流したものの敷地内に止まった。漏えい量は約420リットルで、中和設備に送り処理済み。 原因はフレキ管下部が腐食により穴が開いていたこと及び防液堤内に設置されていた排水管が詰まったことによるもの。	なし
2023年1月26日	福島県	製造業	漏えい	工場の従業員が巡回していたところ、硝酸工場内の蒸溜設備から硝酸(濃度70%)が防液堤内に漏えいし溜まっている状況を発見した。漏えい量は約215リットルで、中和設備に送り処理済み。原因は、寒波の影響で、硝酸を冷やすクーラー内の冷却コイル(ガラス製)及び冷却水フローメーター(ガラス製)が破損したため、クーラー内の硝酸が冷却コイル内部に流入し、冷却水フローメーターの破損箇所から硝酸が漏えいしたものと推定される。	なし

○火薬類取締法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年7月14日	秋田県	消費者	消費	ロケットモーターの燃焼試験中、点火から57秒後にモーターが爆発した。 消費計画時に設定した警戒区域外での被害なし。 原因は調査中。	なし
2023年7月13日	福島県	産業火薬	製造	倉庫内物品の廃棄作業中、火薬のみを含む火工品と認識しながらも分解作業を続け、発火し破片が飛び散った。 当該火工品は爆薬のみを含む信管であり、当人は爆薬が含まれていないと誤認し、部品を水中に浸漬した後、竹串で薬面部分に力を加えたことにより発火したもの。	なし
2023年4月24日	山形県	煙火	消費	山形空港滑走路東側の草地より出火し、管制塔から連絡を受けた空港の消防警備隊が12分後に消し止めた。 原因は鳥追いのためにロケット花火を打ち上げており、花火の残り火が枯れ草に引火したものと推定される。	なし (草地1,664㎡が焼失)
2023年2月28日	宮城県	—	その他	産業廃棄物処理業者敷地内で、陸上自衛隊から収集した砲弾をガス溶断作業中に爆発が発生した。 原因は、陸上自衛隊内で火薬がないことを確認し、鉄くずとして販売した廃弾の中に火薬が残留しており、溶断作業中に引火したものと推定される。	人的被害:なし 物的被害:工場壁面、集合住宅壁面及び居室内壁破損